

常にダイナミックな チャレンジを 創意と提案で顧客の信頼へ

株式会社ヤマシタ
代表取締役社長

福山 邦夫 氏



1960年の創業で、今年60周年を迎えられました。

創業当時はアルミサッシが普及し始めた頃で、私の兄、山下泰一と福山龍市がサッシの取り付けを行う「山下サッシ工業」を始めました。私も高校時代やサラリーマンになってからも休日に現場を手伝っているうちに、兄たちの熱意

にひかれて入社しました。

1971年に生産設備を譲り受けることができ、サッシの組立製造を始めたのが当社のモノづくりの始まりです。

具体的にはどのような製品をつくっていらっしゃるのでしょうか。

建設現場で色々な建材を扱っていた経験から、ステンレスには幅

広い用途があると可能性を感じ、サッシを手始めに、門扉や手すり、流し台などと品目を広げ、ステンレスに特化していきました。1996年に「株式会社ヤマシタ」に社名変更し、お客様の要望に応じて色々な製品を作ってきました。

富山駅北の巨大ならせん状の「風と光の塔」や、富山駅前などにある「AMAZING TOYAMA」のモニュメント、首都高速道路の料金所ブース、新幹線駅のホームドアも作っています。

街で目にする印象的なものが多いですね。

初めてモニュメントを手掛けたのは、1983年の置県100年を記念して整備された太閤山ランド（射水市）に建つ「百年の泉」です。本県出身の芸術家、前田常作先生の設計で、高さ17mの大きなアーチを作る難しい仕事でした。

図面を見せられたときに、うまく曲げられる会社があるのか、うまく繋ぐことができるのか、やったことのないことばかりでしたが、そこで「やります」という勇気と、「作りたい」という気質が創業時からの当社の精神です。実際、素材のことはお客様が教えてくれましたし、技術的なことは兄弟3人で考え、話し合い、作り上げることができました。

この仕事がきっかけで、多方面から声を掛けてもらい、県内外に大型モニュメントを多数作りました。また、芸術家の先生とのお付き合いから、美大生の作品制作にも協力し、採算度外視でしたが、作品発表が当社のPRになり、さらに当社に興味を持って入社した社員もいます。

建材でもモニュメントでも、完成品が目につくので、社員はやりがいがあると思います。

ーサッシから産業機械までー

リーマンショックの時には、産業機械製造会社で働いていた社員を迎えました。彼の前職の経験を生かし、機械の修理や整備を始めたのを手掛かりに、数年前から産業機械に進出し、機械のカバーや部品だけでなく、生産設備の搬送ラインも製造しています。

ステンレス加工については現在、切断から曲げ、穴あけ、溶接、組立まで一貫した加工設備と技術が整い、極小部品から高さ8mのショーケースなど超大型の加工まで対応できる国内でも数少ない企業と自負しています。

技術力向上に向けた取り組みを教えてください。

「豊かな創意、信頼と協調、社会に貢献」を社訓に掲げています。培ってきた技術を強化するため、セミナーや研修への参加や、溶接技能資格の取得などを推奨しています。そして、経営基盤の強化を図るため、技術力を生かした新しい商品の開発にも取り組んできました。

どんな仕事でも、難しそうな点や気をつける事は指摘しますが、「するな」とは言いません。何にでもリスクはあるもので、どうやったら回避できるかを考え、話し合うことを大切にしています。繰り返すことで、社員一人一人がリスクを考えるようになりました。

略 歴

1947(昭和22)年1月、富山市八尾町生まれ。大沢野工業高校卒業後、富山地方鉄道(株)入社。1968年山下サッシ工業へ入社し、73年工場長、81年(株)ヤマシタ設立とともに取締役就任。2005年常務、2017年7月から代表取締役社長。

営業マンの育成はどうされていますか。

営業は製造担当の中から育てています。当社の製品はほとんどオーダー品なので、技術や材料のことが分からないといけません。

また、お客様の図面通りに作るのが基本ですが、モノづくりが分かっていると難しい箇所も分かる。さらに「ここを変更すれば安くできる」、「こうすれば強度が出る」などと提案することもでき、お客様に喜んでもらえます。お褒めの言葉が何よりの力になり、その後の仕事にも活かされていくのです。

ーコロナを機に改善工夫ー

現在の激しい経営環境の変化に、どのように対応されていますか。

現在のコロナ禍、当社も大きな影響を受けていますが、安全対策が進む駅のホームドアや熱交換器の製造など事業範囲を広げてまいりました。さらに、生産性を向上するため、データに基づいた生産管理や、月単位での改善工夫提案の強化を進めており、先月も3つの現場改善を行いました。

バブル崩壊、リーマンショック、親会社の倒産など幾多の荒波を越えてきましたが、これからもお客様からの信頼を得ることを目指してチャレンジしていくのみと思っ



太閤山ランドの「百年の泉」

ています。
今後の展望はどうお考えですか。

独自の技術力を持つ企画提案型企業として6月に、県の中小企業経営モデル企業に指定して頂きました。大変光栄なことです。

60周年記念事業の一環として、新湊工場の大規模修繕や本社工場の改装などを行いました。人材育成と設備の増強を図りながら、働きやすい作業環境を整えていきたいと思っています。

少し前まで後継者が課題でしたが、この数年で福山雅典常務と福山成志取締役が入社し、事業継承の目途が立ってきました。100年企業を目指してチャレンジ精神を引き継いでくれると思います。

座右の銘をお伺いします。

「苦心孤詣」です。努力しながらも、学問や技術、芸術を学び、製品製作に生かしていきたいと思っています。

会社概要

株式会社ヤマシタ

創 業：1960(昭和35)年4月
所 在 地：本社工場・富山市上八日町22-1
新湊工場・射水市新堀21-3
資 本 金：6,500万円
事業内容：ステンレスサッシドアの製造販売、各種建築金物・手摺・モニュメント等の設計・製作・施工、各種産業装置・部品の製作
従業員数：110名(2020年9月現在)
売 上 高：19億8,000万円(2020年4月期)
事 業 所：名古屋営業所
U R L：https://y-ft.co.jp/



富山城趾公園に設置されている「AMAZING TOYAMA」モニュメント前で